

平成19年(2007年)10月13日 (土曜日)

うなぎペットフード、温泉いやしのツアー…

本県4事業を初認定

地域資源活用で
関東経済産業局



関東経済産業局は十二日、六月に施行された中小企業地域資源活用促進法に基づく地域産業資源活用事業計画の第一号の認定事業者を選定し、本県の四件をはじめ、管内一都十県内の二十五件に認定書を交付した。認定により、国から事業費の三分の二の補助を受けることができる。全国の認定は百五十三件。

県内で認定されたのは、うなぎを活用した新たな
は▽静岡県産杉・ひのき ペットフードの開発事業
を用いた空気質改善イン //海老仙(浜松市西区)
テリア製品の開発//アス▽新方式の冷温燻(へん)
カム(吉田町)▽浜名湖 製によるアンの新冷燻

認定書の交付を受けた

(左から)松浦代表、加茂専 津市)▽伊豆の温泉の効
務、坂部代表、室伏代表//さ 能と八十八カ所巡りの各
いたま市の関東経済産業局 た、心と体をいやす観光

ツアーの商品化//三嶋観
光バス(函南町)。
さいたま市の同局で開
かれた交付式で認定書を
受け取ったアスカムの松
浦紘一代表は「木材と間
伐材セラミック炭を融合
し、空気質改善型の家具
を商品化させたい」、海老
仙の加茂仙一郎専務は
「未利用のウナギの骨や
頭を使い、周囲の協力を
得ながら環境に優しい商
品を開発したい」と意気
込む。坂部水産の坂部昭
夫代表は「沼津の地域ブ
ランドの干物を新技術で
新たな地場産品として売
り出したい」、三嶋観光バ
スの室伏強代表も「東部
地域を結び伊豆地区全体
の観光活性化につなげて
いく」と抱負を語った。